

# DOCUMENT EYE

131

混合交通を観察する

**● WHY**  
**二輪車・自転車の走行状況は?**  
 渋滞時、停車中の四輪車の脇を通過していく二輪車の姿をよく見かける。最近では都市部を中心に、一般のライダーに加えてバイク便や自転車便などの進出が著しく、この時期でも二輪車の交通量は少なくない。  
 信号待ちの渋滞時にすり抜け等危険な走行をしていないか、バイク便・自転車便と一般ライダーを比較しながら観察した。



**● WATCHING**  
**すり抜けした二輪車同士のニアミスも**  
 観察場所は東京都港区の国道246号青山3丁目付近。青山通りと呼ばれるこの付近は片側4車線で道路はかなり整備



## ● 一般道での二輪車・自転車の追い抜き等を観察する 1時間に観察した二輪車・自転車291台中 すり抜け30台

されているが、近辺には商業施設やオフィスが多数あり、平日の昼間でもかなり混雑している。

また、4車線の最も左側の車線には駐車車両が多く、交通の流れは実質3車線だ。乗用車やタクシー、ワンボックス車が多く大型トラック等は少なめ。交差点手前で信号待ちなどで渋滞となる中、クルマの前に出る二輪車を多数見かけた。

二輪車の走行パターンを、信号待ちの渋滞時と平常時(流れている状態)について、図のように

- ・A「追い抜き」 車線変更はしないでクルマの前方に出る
- ・B「すり抜け」 クルマとクルマの間をぬうように通過
- ・C「追い越し」 進路変更を行なってクルマの前方に出る
- ・D「追従」 追い抜きなどはせず、前車に続いてそのまま走行

の4パターンに分類して1時間観察した。あわせてバイク便や自転車によるメッセンジャー便および車道を走行する自転車についても観察した。

別表のように、信号待ちの渋滞時のほうがすり抜け等を行なう二輪車が多く、クルマの直前を直角に横切ったり、同じ車線内を右端と左端とを交互にぬっている二輪車などが見かけられた。すり抜けの二輪車同士のニアミスも観察された。

信号待ちの渋滞時にすり抜けを行なう原付やバイクのなかには、徐行せずにかなりのスピードで走っていく例も多かった。また、最も左端の車線を追い抜いていく原付やバイクの中には、駐車中のクルマの発進や側道からの進入、側道への左折、タクシーなど乗降のためにドアの開閉などで進路を阻まれてしまった光景も見かけた。

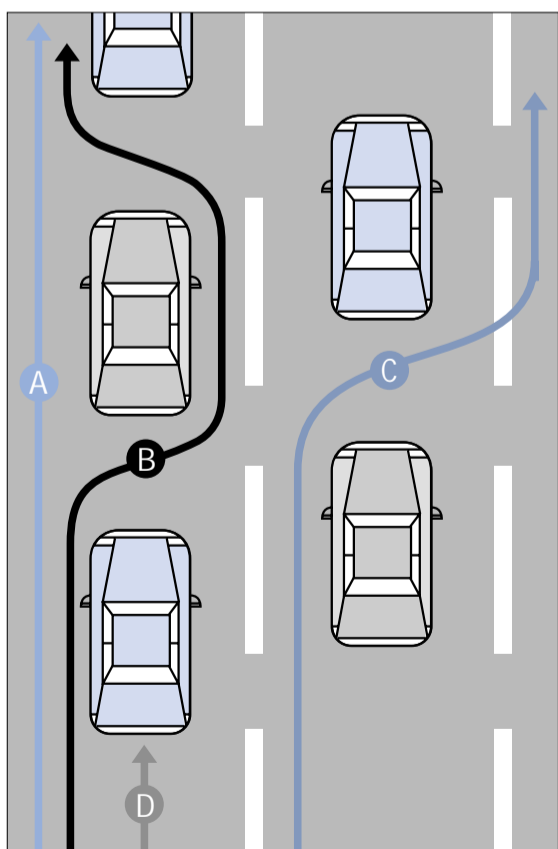
仕事で原付やバイクを走らせるバイク便は、合計で94台。追い抜きやすり抜けを行なう姿も見られたが、一般ライダー

と比べてバイク便のライダーの多くは、前方、側方および後方を振り返って後方確認をしっかりと行ない、安全を確認しながら進行する場面が多かった。一方、車道を走行していた自転車29台のうちメッセンジャー便らしき自転車を14台見かけたが、スピードも速く、後方確認もほとんど行なわないで走行していた。追い越し車線にまで出てきたり、センターライン付近を逆走していたメッセンジャー便らしき自転車もいた。

**● PROPOSE**

**安全確認を忘れずに、常に危険を予測しながら走行を**

今回の観察で危険だと思われたのは、実は第一通行帯で追い抜きを行なう場合だった。左側を走れば安全、ではなく駐車車両や左折車、突然のドアの開閉が日常的に行なわれていた。危険な状況のなかで接触などすればダメージが大きいのは明らかに二輪車のほうだ。バイク便には無謀な運転はほとんど見られなかった。しかし、一般ライダーは後方確認を怠る場合が多かった。



- 観察地点/東京都港区青山3丁目8-40 国道246号「青山三丁目」歩道橋付近
- 観察日/11月29日(水曜日)
- 天候/曇り
- 観察時間/13:55~14:55
- 観察者/4名

二輪車・自転車の追い抜き等の状況(291台中) ( )内はバイクまたは自転車便

		A 追い抜き	B すり抜け	C 追い越し	D 追従	計
渋滞時 (228台中)	バイク	70(34)	9(4)	19(12)	17(9)	115(59)
	原付	77(7)	12(5)	1(0)	4(0)	94(12)
	自転車	14(5)	0(0)	3(2)	2(1)	19(8)
	計	161(46)	21(9)	23(14)	23(10)	228(79)
平常時 (63台中)	バイク	5(1)	4(2)	0(0)	6(3)	15(6)
	原付	11(1)	5(2)	0(0)	22(0)	38(3)
	自転車	5(3)	0(0)	3(2)	2(1)	10(6)
	計	21(5)	9(4)	3(2)	30(4)	63(15)
計		182(51)	30(13)	26(16)	53(14)	291(94)

うにしてほしい。また、クルマの死角に入らないように車間距離を十分とった位置で走行することが望まれる。また、昼間点灯や視認性の高い色の服装で自分の存在を他者に知らせるように心がけてほしい。